

桑名杯レディーステニス大会 2026 by DUNLOP

第 38 回 岐阜県大会

主 催	日本女子テニス連盟
主 管	日本女子テニス連盟 岐阜県支部
後 援	岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
協 賛	テニスショップ NAWA
特別協賛	株式会社 ダンロップスポーツマーケティング
大会会長	武正八重子（日本女子テニス連盟 会長）
大会委員長	藤原ちえみ（日本女子テニス連盟 岐阜県支部 支部長）
種 目	女子ダブルス
日 程	2026年5月14日(木) 予備日5月22日(金)
受付時間	午前9:30～9:55
会 場	岐阜ファミリーパーク(砂入り人工芝コート)
使用球	ダンロップフォートイエロー（大会指定球）
試合方法	「JTA テニスルールブック 2026」に準ずるラウンドロビン方式後 順位トーナメント すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用 6ゲーム先取 ウォームアップサービス4本 セルフジャッジ
服 装	テニスウェア(長ズボン可 ログ規定なし フェイスマスク不可)
ディレクター	牧村洋子
レフェリー	梅田宗子 朝居基美(AR)
大会委員	松下祐紀 倉知尚代 大野聖代
そ の 他	試合中に発生した傷害についてはその場で対応しますが、それ以後の責任は負いません 本要項は天候等やむを得ない事情により変更することがあります この大会で得た個人情報は、大会以外の目的には使用しません

桑名杯レディーステニス大会 2026 by DUNLOP

2026.5.14

A ブロック

	氏名	所属	1	2	3	勝敗	順位	取得率
① 1	広末美桜子・羽賀恵	(西濃クラブ)	/					
2	渡邊恵美・小酒井理絵	(郡上市テニス協会)						
3	林公子・搦本佳子	(WIM岐阜・多治見市テニス協会)						

試合順 1 vs 2 1 vs 3 2 vs 3

B ブロック

	氏名	所属	1	2	3	4	勝敗	順位	取得率
1	山本ちさ江・籠橋直美	(恵那峡TC)	/						
2	吉田隆子・大野千和子	(郡上市テニス協会)							
3	平泉直子・石原朝美	(西濃クラブ)							
4	長清香・鏡味沙耶	(LinkTS・ミキヤTC)							

試合順 1 vs 2 3 vs 4 1 vs 3 2 vs 4

C ブロック

	氏名	所属	1	2	3	勝敗	順位	取得率
1	池戸美紀・河合めぐみ	(郡上市テニス協会)	/					
2	浅野洋子・森本記代	(西濃クラブ・大野TC)						
3	大窪久美子・西尾里奈	(WIM岐阜)						

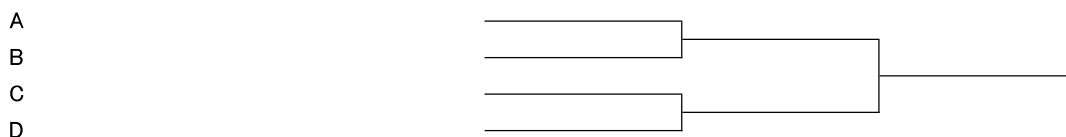
試合順 1 vs 2 1 vs 3 2 vs 3

D ブロック

	氏名	所属	1	2	3	4	勝敗	順位	取得率
1	大畑明子・加藤美智子	(郡上市テニス協会)	/						
2	大野博美・久保百合恵	(岐阜西TC・BREAK BACK)							
3	久保一恵・村越優希	(岐阜西TC)							
4	芝野みちえ・林恵子	(郡上市テニス協会)							

試合順 1 vs 2 3 vs 4 1 vs 3 2 vs 4

決勝トーナメント



第1シード 広末美桜子・羽賀恵

桑名杯 歴代優勝者

回	年	優勝者名
1	1989	鈴木桂子・小島久美子
2	1990	神戸敦子・渡辺美千代
3	1991	堀内美江子・龍口八重子
4	1992	阿部節子・伊藤政子
5	1993	葛西文代・下條美恵子
6	1994	田中久美子・糸魚川由美子
7	1995	堀靖子・若原登代子
8	1996	古田満知子・二村優子
9	1997	野水美佐子・青山衣永
10	1998	栗山友美・松原敬子
11	1999	諏訪且子・白木真由子
12	2000	河合久子・五藤克子
13	2001	安藤千賀子・近藤洋子
14	2002	信田恵美子・田辺理香
15	2003	石田裕美・杉下美恵
16	2004	白岩美幸・古屋さつき
17	2005	羽柴知恵子・田村弘美
18	2006	小島一見・竹村久子
19	2007	浅野美恵・鈴木聡美
20	2008	後藤直子・森本寿枝
21	2009	梶田恵・小林さゆり
22	2010	森純子・渡辺里佳
23	2011	島袋道子・小路さおり
24	2012	林智美・和田洋美
25	2013	春日井寛子・佐々木夫美枝
26	2014	高阪晴代・渡邊あけみ
27	2015	倉橋祐子・野田美代子
28	2016	井上祐花理・大城佳美
29	2017	浅野輝美・伊藤益美
30	2018	木本雪子・日下部由美
31	2019	門崎朱美・岩田尚見
32	2020	広瀬里美・渡邊ひろえ
33	2021	細川美香・平野愛加
34	2022	加藤恵・木寺奈美
35	2023	長尾尚子・伊塚真紀
36	2024	安藤美奈子・中瀬夏美
37	2025	岡田美穂・三間千香子

すずらんテニス大会 2026

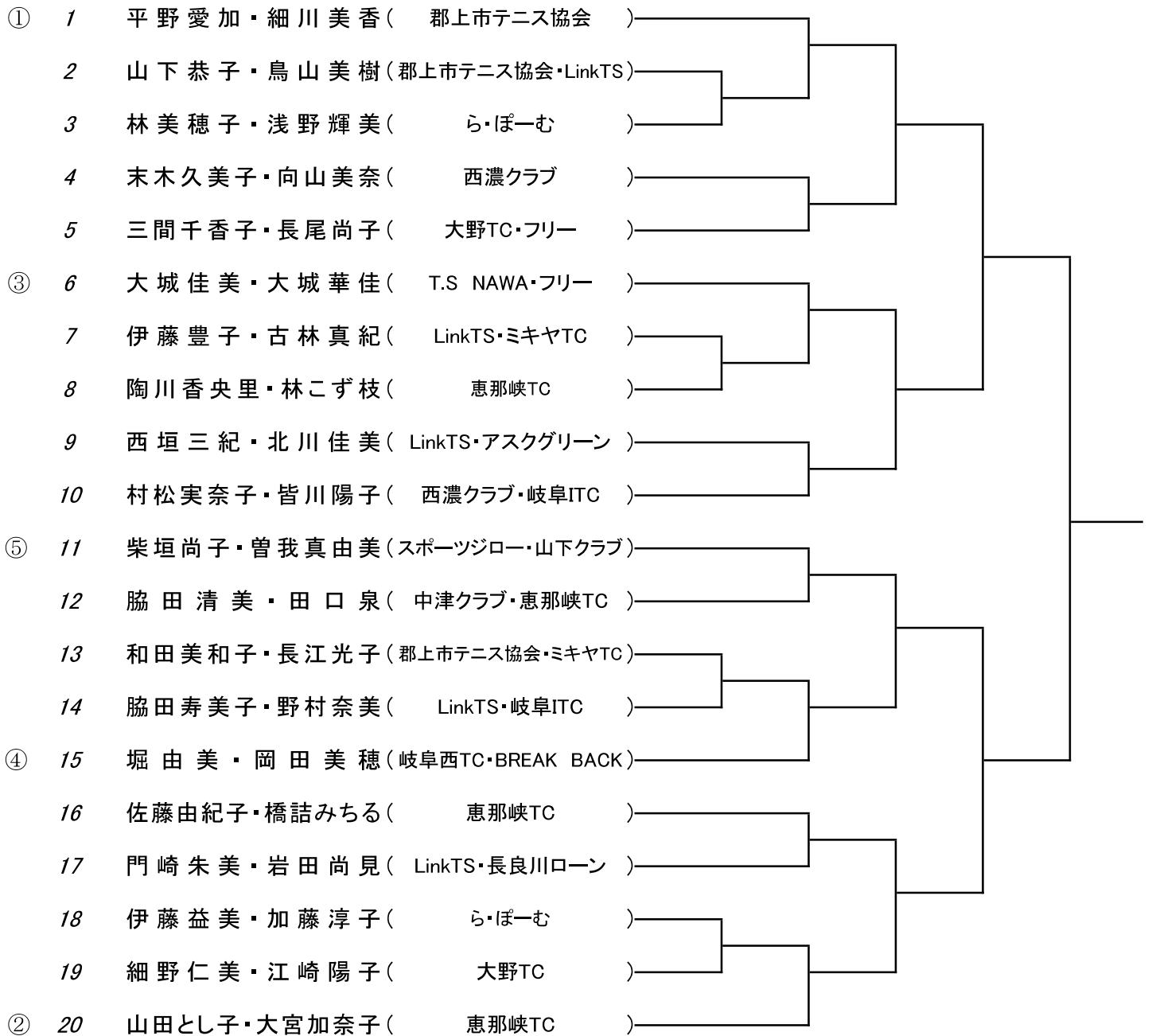
第 38 回 岐阜県大会

主 催	日本女子テニス連盟 岐阜県支部
後 援	岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
協 賛	テニスショップ NAWA
特別協賛	株式会社 ダンロップスポーツマーケティング
大会委員長	藤原ちえみ（日本女子テニス連盟 岐阜県支部 支部長）
種 目	女子ダブルス
日 程	2026年5月14日(木) 予備日5月22日(金)
受付時間	午前8:30～8:55
会 場	岐阜ファミリーパーク(砂入り人工芝コート)
使用球	ダンロップフォートイエロー（大会指定球）
試合方法	「JTA テニスルールブック 2026」に準ずるトーナメント方式 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用 本戦6ゲーム先取 コンソレーション6ゲーム先取（敗者ボール使用） ウォームアップサービス4本 セルフジャッジ
服 装	テニスウェア(長ズボン可 ログ規定なし フェイスマスク不可)
ディレクター	牧村洋子
レフェリー	梅田宗子 朝居基美(AR)
大会委員	松下祐紀 倉知尚代 大野聖代
そ の 他	試合中に発生した傷害についてはその場で対応しますが、それ以後の責任は負いません 本要項は天候等やむを得ない事情により変更することがあります この大会で得た個人情報は、大会以外の目的には使用しません

すずらんテニス大会 2026

2026・5・14

QF SF F



第1シード 平野愛加・細川美香

第4シード 堀由美・岡田美穂

第2シード 山田とし子・大宮加奈子

第5シード 柴垣尚子・曾我真由美

第3シード 大城佳美・大城華佳

すずらん

歴代優勝者

第10回まではMMC杯

第11～13回は桑名杯C級

第14回よりすずらんテニス大会

回	年	優勝者名
1	1989	中山和子・高木博子
2	1990	板倉ますみ・栃本とよ子
3	1991	溝口美砂江・山口真弓
4	1992	北川規子・中島美保子
5	1993	山田美江子・神戸敦子
6	1994	柴田ちか子・吉田立子
7	1995	葛西文代・下條美恵子
8	1996	山川実幸・牧村洋子
9	1997	安田愛子・林みゆき
10	1998	丹羽るみ子・久野康子
11	1999	梶川幾子・家崎洋子
12	2000	名和晴美・小久保真由美
13	2001	今村芳子・二村洋子
14	2002	水谷早苗・竹内真紀
15	2003	花岡幸子・与那嶺由紀子
16	2004	毛利京子・横山久恵
17	2005	米森桂子・竹内文恵
18	2006	羽柴知恵子・田村弘美
19	2007	渡辺美由紀・村瀬妙子
20	2008	武藤純子・田中朋子
21	2009	篠田郁子・梅田宗子
22	2010	浅野美恵・鈴木聡美
23	2011	久納智子・高桑陽子
24	2012	森純子・渡辺里佳
25	2013	松原佳成重・大野聖代
26	2014	加藤幸子・浅野しのぶ
27	2015	松下祐紀・熊田庸子
28	2016	木野孝子・山内春美
29	2017	山本育子・亀村千穂
30	2018	小路さおり・林智美
31	2019	木本雪子・中嶋美佐子
32	2020	岩田礼子・青木千鶴
33	2021	山川奈美恵・入木田真希子
34	2022	西脇佐和子・工藤栄子
35	2023	加藤恵・木寺奈美
36	2024	津田昌子・倉橋祐子
37	2025	安藤美奈子・中瀬夏美

クローバーカップ 2026

60歳以上の部・65歳以上の部

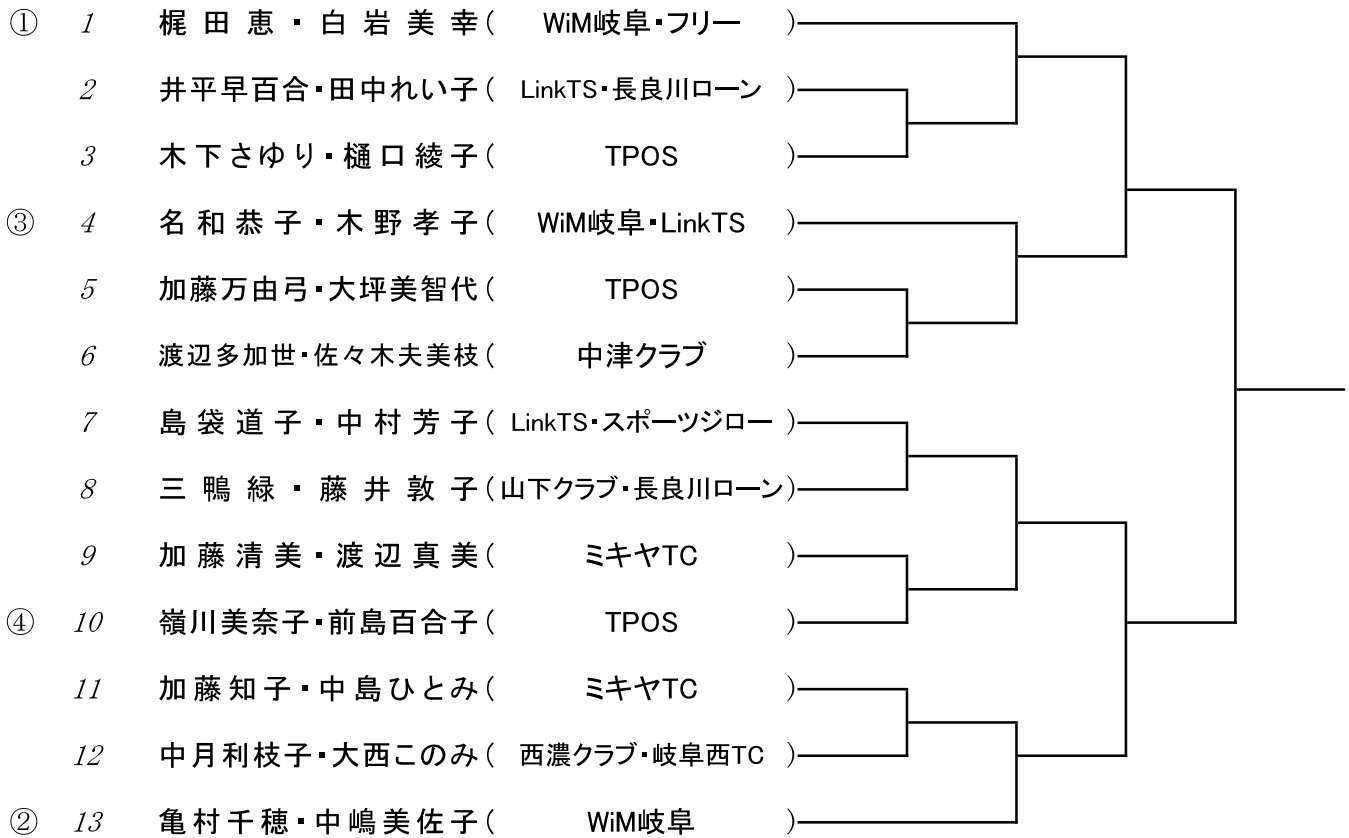
第16回 岐阜県大会

主催	日本女子テニス連盟 岐阜県支部
後援	岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
協賛	テニスショップ NAWA
特別協賛	株式会社 ダンロップスポーツマーケティング
大会委員長	藤原ちえみ（日本女子テニス連盟 岐阜県支部 支部長）
種目	女子ダブルス
日程	2026年5月14日(木) 予備日5月22日(金)
受付時間	午前8:30～8:55
会場	岐阜ファミリーパーク(砂入り人工芝コート)
使用球	ダンロップフォートイエロー（大会指定球）
試合方法	「JTA テニスルールブック 2026」に準ずるトーナメント方式 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用 本戦6ゲーム先取 コンソレーション6ゲーム先取（敗者ボール使用） ウォームアップサービス4本 セルフジャッジ
服装	テニスウェア(長ズボン可 ロゴ規定なし フェイスマスク不可)
ディレクター	牧村洋子
レフェリー	梅田宗子 朝居基美(A R)
大会委員	松下祐紀 倉知尚代 大野聖代
その他	試合中に発生した傷害についてはその場で対応しますが、それ以後の責任は負いません 本要項は天候等やむを得ない事情により変更することがあります この大会で得た個人情報、大会以外の目的には使用しません

クローバーカップ 2026 60歳以上の部

2026・5・14

QF SF F



第1シード 梶田恵・白岩美幸

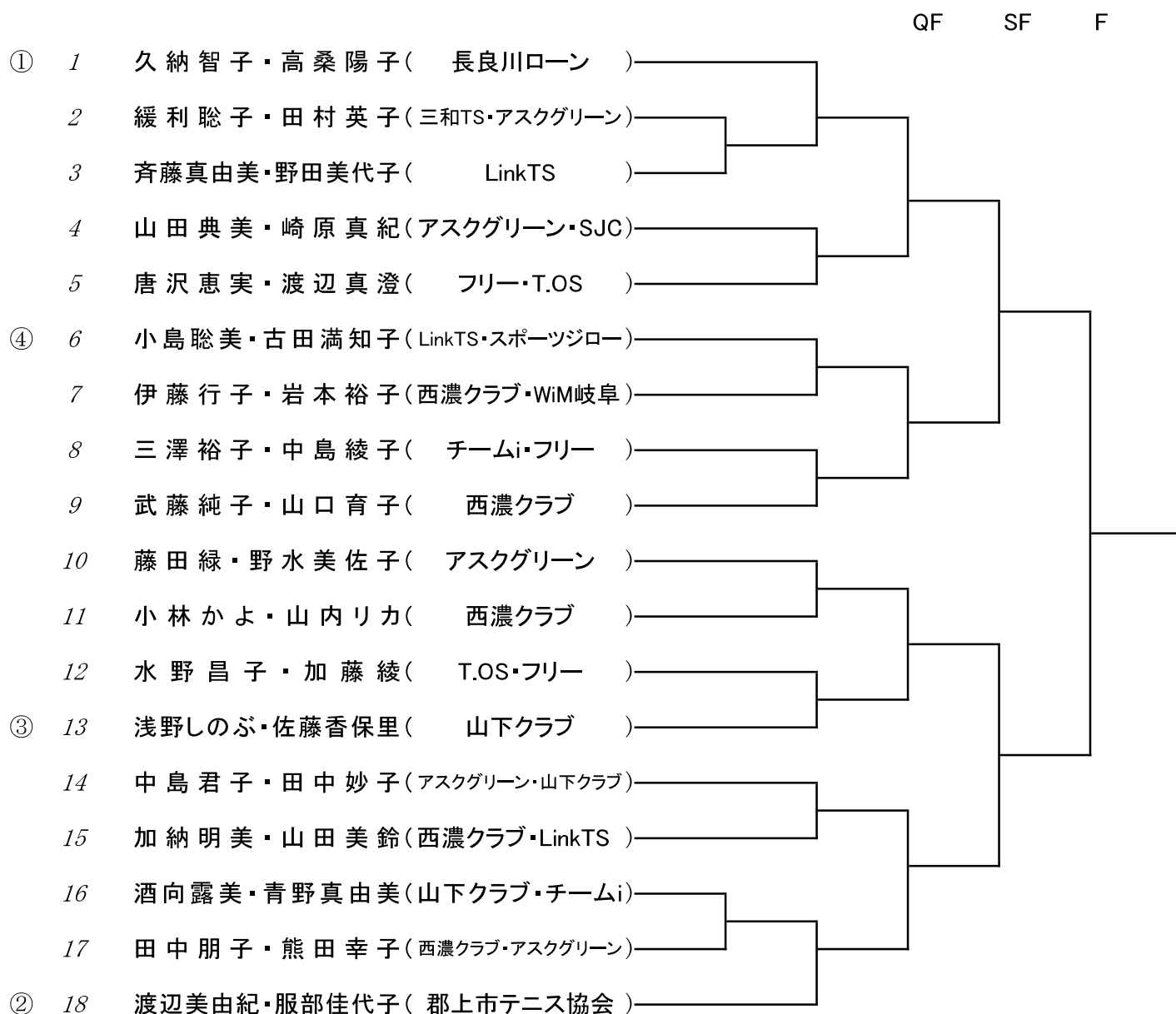
第3シード 名和恭子・木野孝子

第2シード 亀村千穂・中嶋美佐子

第4シード 嶺川美奈子・前島百合子

クローバーカップ 2026 65歳以上の部

2026.5.14



第1シード 久納智子・高桑陽子

第3シード 浅野しのぶ・佐藤香保里

第2シード 渡辺美由紀・服部佳代子

第4シード 小島聡美・古田満知子

クローバーカップ 歴代優勝者

2010年まではれんげ大会60歳以上
2011年からクローバーカップに名称変更
2024年から65歳以上の部新設

回	年	優勝者名(60歳以上の部)	優勝者名(65歳以上の部)
1	2008	荒井百合子・龍口八重子	
2	2009	松井文子・石井三代子	
3	2010	山根福子・丹羽るみ子	
1	2011	松井文子・石井三代子	
2	2012	白根綾子・木下恭子	
3	2013	和田美和子・長江光子	
4	2014	住アツ子・山本歌子	
5	2015	田中久美子・長江光子	
6	2016	住アツ子・山本歌子	
7	2017	岩田三恵子・山田美鈴	
8	2018	久納智子・高桑陽子	
9	2019	渡辺美由紀・服部佳代子	
10	2020	久納智子・高桑陽子	
11	2021	浅野美恵・石田順子	
12	2022	久納智子・高桑陽子	
13	2023	久納智子・高桑陽子	
14	2024	梶田恵・白岩美幸	久納智子・高桑陽子
15	2025	梶田恵・白岩美幸	久納智子・高桑陽子

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第1ゲーム終了後とタイプレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。選手同士その時点のスコアを確認する。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、1人の選手が行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサーブを、1人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「(サーブの)レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールした選手が「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こってないので、1回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両選手・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った選手・チームの失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った選手・チームの得点。
ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第2サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は、第1サービスからやり直す。
9. 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手選手がプレーを妨害したと判断した場合、「レット」をコールすることができる。2回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・相手選手の言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時(緊急を要する場合は直ちに)、1部位の症状につき1回のMTOが取れ、3分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、MTOをとることはできない。
12. レフェリー、ロービングアンパイアは、コート内外からフットフォールトのコールや選手の判定をオーバールールできる。オーバールール時の対応は、セルフジャッジについての「5.」と同じ。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。